

建築物の名称	
--------	--

□ 次の性能に係る長期使用構造等とするための増築又は改築を行う。 ⇒代表的な工事を以下に記載する。

□ 劣化対策 □ 耐震性 □ 省エネ性 □ 維持管理対策 ⇒ 具体的な工事の内容 ()

認定事項等	確 項 目	認 目 項	設計内容説明欄		※	記載図書	増改築の実施	設計内容 確認欄
			項目	設計内容				
1 構造躯体等の劣化対策 □ 本基準に係る全ての増改築を実施しない。	外壁の軸組等	外壁の構造(地面から1m)	・ 外壁通気構造等 (☐ 通気構造等 ☐ その他) ・ 柱[☐ 製材 (樹種)) ☐ 集成材等(種類)] 小径(cm) 薬剤処理[☐ 有 (方法)) ☐ 無 ☐ 露出部分の防腐・防蟻処理＋維持保全の強化 ・ 柱以外の軸材[☐ 製材(樹種)) 集成材等(種類)] 薬剤処理[☐ 有 (方法)) ☐ 無 ☐ 露出部分の防腐・防蟻処理＋維持保全の強化 ・ 構造用合板等の種類 () 薬剤処理[☐ 有 (方法)) ☐ 無 ☐ 露出部分の防腐・防蟻処理＋維持保全の強化 ☐ K3以上の薬剤処理(工場処理)			☐ 仕上表 ☐ 伏図 ☐	☐ 増改築を実施	
	土台	防腐・防蟻処	・ 土台に接する外壁下端水切り (☐ 有 ☐ 無) ・ 土台の樹種 () ・ 薬剤処置 [☐ 有 (方法)) ☐ 無 ☐ 露出部分の防腐・防蟻処理＋維持保全の強化			☐ 仕上表 ☐ 伏図 ☐	☐ 増改築を実施	
	浴室・脱衣室の防水	防水上の措置	・ 浴室 (☐ 浴室ユニット ☐ 防水上有効な仕上げ ☐ その他の防水措置 ☐ 防腐措置) 方法: () ・ 脱衣室 (☐ 防水上有効な仕上げ ☐ その他の防水措置 ☐ 防腐措置) 方法: ()			☐ 仕上表 ☐	☐ 増改築を実施	
	地盤	防蟻措置	・ 防蟻措置 (☐ 有 ☐ 対象区域外) ☐ ベタ基礎等 ☐ 土壤処理 ☐ その他 土壤処理方法:() ☐ 基礎内周部にコンクリート打設＋コンクリートのひび割れ等による隙間なし＋維持保全の強化			☐ 仕上表 ☐	☐ 増改築を実施	
	基礎高さ	基礎高さ	・ 地面から基礎上端又は土台下端までの高さ (mm) ☐ 400mm以上 ☐ 300mm以上＋基礎まわりの雨はね防止措置＋維持保全の強化			☐ 仕上表 ☐ 矩形図 ☐	☐ 増改築を実施	
	床下防湿措置等	床下地盤面の防湿措置	・ 防湿方法 ☐ コンクリート (厚さ mm) ☐ 防湿フィルム (材料 厚さ mm) ☐ コンクリートのひび割れ等による隙間なし＋床下木部が湿潤していない＋維持保全の強化			☐ 仕上表 ☐ 基礎伏図 ☐ 矩形図 ☐	☐ 増改築を実施	
	床下換気措	床下換気置	・ 基礎部の開口 [(換気口の設置間隔 mm) 維持保全の強化 (☐ 有 ☐ 無) (開口高さ mm、幅 mm)] ・ ねこ土台 (有効面積 cm ² /m、高さ cm)					
	小屋裏換気	小屋裏換気置	・ 小屋裏の有無 (☐ 有 ☐ 無) ・ 換気口位置 (給気口: 排気口:) ☐ 換気口の面積の天井面積に対する割合 (給気口: 排気口:) ☐ 野地板等的小屋裏木部が湿潤していない＋維持保全の強化			☐ 仕上表 ☐ 立面図 ☐	☐ 増改築を実施	
	点検措置	床下空間小屋裏空間	・ 床下空間への設置 点検口 (☐ 有 ☐ 無) ・ 床下有効点検措置 ☐ 床下空間の有効高さ確保 (mm) ☐ 点検口から目視等により点検可能 ・ 小屋裏空間への設置 点検口 (☐ 有 ☐ 無)			☐ 平面図 ☐ 伏図 ☐	☐ 増改築を実施	
	劣化事象	著しい劣化事象等	☐ 劣化対策に大きく影響すると見込まれる劣化事象等が認められない。 ☐ 劣化対策に大きく影響すると見込まれる劣化事象等が認められたが補修を行う。					

※この欄に記載されている事項は、必要な範囲内で、個別の申請において詳細に設定してください。

認定事項等	確認項目	設計内容説明欄		※	記載図書	増改築の実施	設計内容 確認欄
		項目	項目				
2 耐震性 ☐ 本基準に係る全ての増改築を実施しない。	構造躯体及び基礎等	検証方法	☐ 新築時の耐震性を確認でき、耐震性に影響のある増改築等が行われていない ☐ S56.6.1以降着工 ☐ 耐震改修法告示lw値 ≥ 1.0 ☐ 耐震改修法告示と同等 () ☐ 耐震等級(倒壊等防止)等級1以上 ☐ 免震建築物 ☐ 平成12年建設省告示第2009号第1第3号による免震建築物 ・ 同告示第2の該当する号 ☐ 1号(4号建築物) ☐ 2号(建築基準法第20条第2号に掲げる建築物) ☐ 3号(時刻歴応答解析を行い大臣認定を取得) ・ 免震層、免震材料の維持に関する計画 ☐ 免震材料等の維持管理に関する計画 ☐ 敷地の管理に関する計画	☐ 構造計算書 ☐			
	耐力壁	筋交い耐力壁	・種類 () 寸法 () ・種類 () 寸法 ()	☐ 構造伏図 ☐ 矩計図 ☐ 仕上表 ☐	☐ 増改築を実施		
		木摺耐力壁	・種類 () 寸法 () ・間隔 ()				
		面材耐力壁	・種類 () ・面材厚さ () mm 倍率 () ・釘種類 () 釘間隔 (mm)				
	準耐力壁	木摺準耐力壁	・種類 () 寸法 ()	☐ 構造伏図 ☐ 矩計図 ☐ 仕上表 ☐	☐ 増改築を実施		
		面材耐力壁	・種類 () ・面材厚さ () mm 倍率 () ・釘種類 () 釘間隔 (mm)				
床組等	火打ち構面		・種類 () ・隅長 () 取合梁背 () ・火打ち構面位置 ()	☐ 構造伏図 ☐ 矩計図 ☐ 仕上表 ☐	☐ 増改築を実施		
		2階床面	・面材の種類 () ・根太間隔 (mm) 工法 () ・釘種類 () 釘間隔 (mm)				
		3階床面	・面材の種類 () ・根太間隔 (mm) 工法 () ・釘種類 () 釘間隔 (mm)				
		小屋床面	・面材の種類 () ・根太間隔 (mm) 工法 () ・釘種類 () 釘間隔 (mm)				
	屋根面	屋根勾配	・勾配 ()	☐ 構造伏図 ☐ 矩計図 ☐ 仕上表 ☐	☐ 増改築を実施		
		屋根構面	・面材の種類 () ・垂木間隔 (mm) 工法 () ・釘種類 () 釘間隔 (mm)				
接合部	筋交い端部の接合部		・接合部の仕様 () ()	☐ 構造伏図 ☐ 仕上表 ☐	☐ 増改築を実施		
		柱脚・柱頭の接合部	・柱脚・柱頭の接合部の検証方法 ☐ 平成12年建設省告示第1460号(仕様規定) ☐ N値計算法 ☐ 許容応力度等計算 ☐ その他 ()				
		横架材接合部	・接合部の仕様 () ()				
		胴差しと通し柱の接合部	・接合部の仕様 () ()				
	基礎	基礎の形式	☐ 布基礎 ☐ ベタ基礎 ☐ その他 ()	☐ 基礎伏図 ☐ 構造計算書 ☐ 構造伏図 ☐ 矩計図 ☐	☐ 増改築を実施		
2 耐震性		寸法及び配筋等の検証方法	☐ スパン表による (種類:) ☐ 許容応力度計算による ☐ その他 ()				
		アンカーボルト	・品質 () ・埋め込み長さ (mm) ・位置・間隔 ()				
	横架材	寸法及び配筋等の検証方法	☐ スパン表による (種類:) ☐ 許容応力度計算による ☐ その他 ()	☐ 構造計算書 ☐ 構造伏図 ☐	☐ 増改築を実施		
	劣化事象等	著しい劣化事象等	☐ 構造耐力に大きく影響すると見込まれる劣化事象等が認められない。 ☐ 構造耐力に大きく影響すると見込まれる劣化事象等が認められたが補修を行う。				

認定事項等	確認項目	設計内容説明欄		記載図書	増改築の実施	設計内容確認欄
		項目	設計内容			
3 可 変 性			（一戸建て住宅のため該当なし）			
4 維持管理更新の容易性 （専用配管） （ガス管を除く。） ☐ 本基準に係る全ての増改築を実施しない。	専用配管	コンクリート内埋込み配管	☐ 排水管（ ☐ 無 ☐ 維持保全計画に将来的な適合を計画） ☐ 給水管（ ☐ 無 ☐ 維持保全計画に将来的な適合を計画） ☐ 給湯管（ ☐ 無 ☐ 維持保全計画に将来的な適合を計画）	☐ 仕上表 ☐ 平面図 ☐ 矩形図	☐ 増改築を実施	
	※	地中埋設管	☐ 排水管（ ☐ 無 ☐ 維持保全計画に将来的な適合を計画） ☐ 給水管（ ☐ 無 ☐ 維持保全計画に将来的な適合を計画） ☐ 給湯管（ ☐ 無 ☐ 維持保全計画に将来的な適合を計画） ☐ 条例等の規定により凍結防止のための配管埋設が定められている	☐ 仕上表 ☐ 平面図 ☐	☐ 増改築を実施	
		専用排水管	排水管の清掃措置 ・ 便所 [☐ 排水ますに隣接 ☐ 掃除口 ☐ 露出又は開口有] ・ その他の水まわり [☐ トラップ ☐ 掃除口 ☐ 露出又は開口有]	☐ 配置図 ☐ 平面図	☐ 増改築を実施	
	排水管の形状等（継手及びヘッダーを含む。）	排水管等の内面	☐ 平滑である（仕様等） ☐ その他（ ）	☐ 仕上表 ☐	☐ 増改築を実施	
		設置状態	☐ たわみ等が生じないように設置措置（ ） ☐ その他（ ）			
	配管点検口	主要接合部等の点検措置	・ 排水管と設備機器の接合部 [(☐ 露出 ☐ 開口部有 ☐ その他)] ・ 給水管と設備機器の接合部 [(☐ 露出 ☐ 開口部有 ☐ その他)] ・ 給湯管と設備機器の接合部 [(☐ 露出 ☐ 開口部有 ☐ その他)] ・ 給水管バルブ及びヘッダー [(☐ 露出 ☐ 開口部有 ☐ その他)] ・ 給湯管バルブ及びヘッダー [(☐ 露出 ☐ 開口部有 ☐ その他)]	☐ 平面図 ☐	☐ 増改築を実施	
5 高齢者等対策			（一戸建て住宅のため該当なし）			

※ 一戸建ての住宅の専用配管で床下から屋外へ接続する部分が基礎下に配管されているものは除く。

認定事項等	確認項目	設計内容説明欄		記載図書	増改築の実施	設計内容確認欄
		目	設計内容			
6 省エネルギー対策 ☐ 本基準に係る全ての増改築を実施しない。	適用する基準		☐ 断熱等性能等級（ ☐ 等級4 ☐ 等級3） ☐ 基準省令及び住宅計算法 ☐ 住宅仕様基準 ☐ 一次エネルギー消費量等級4 ☐ 基準省令及び住宅計算法 ☐ 住宅仕様基準	☐		
	躯体の断熱性能等	地 域 区 分	☐ 1地域 ☐ 2地域 ☐ 3地域 ☐ 4地域 ☐ 5地域 ☐ 6地域 ☐ 7地域 ☐ 8地域	☐		
	断熱材の種類及び厚さ	屋根	（ （ mm） 部位の熱貫流率（ $\text{m}^2 \cdot \text{K} / \text{W}$ ）	☐ 仕上表 ☐ 矩形図 ☐	☐ 増改築を実施	
		天井	（ （ mm） 部位の熱貫流率（ $\text{m}^2 \cdot \text{K} / \text{W}$ ）			
		壁	（ （ mm） 部位の熱貫流率（ $\text{m}^2 \cdot \text{K} / \text{W}$ ）			
		床	外気に接する部分（ （ mm） 部位の熱貫流率（ $\text{m}^2 \cdot \text{K} / \text{W}$ ）			
		その他の部分	（ （ mm） 部位の熱貫流率（ $\text{m}^2 \cdot \text{K} / \text{W}$ ）			
		土間床等の外周部外気に接する部分	（ （ mm） 部位の熱貫流率（ $\text{m}^2 \cdot \text{K} / \text{W}$ ）			
		その他の部分	（ （ mm） 部位の熱貫流率（ $\text{m}^2 \cdot \text{K} / \text{W}$ ）			
	開口部の断熱性能等	窓・ドア等の断熱性	建具 ドア枠の材質 形状 建具形態 ガラスの種類 構成等 （ ） （ ） （ ） （ ） （ ） （ ）	☐ 仕上表 ☐ 平面図	☐ 増改築を実施	
		窓・ドア等の日射遮蔽措置	方位 ガラスの日射侵入率等 庇 軒 付属部材等 （ ） （ ） （ ） （ ） （ ） （ ） （ ） （ ） （ ）			
	基準省令及び住宅計算法	外皮平均熱貫流率	☐ 外皮平均熱貫流率(Ua値) （ ） ($\text{W} / (\text{m}^2 \cdot \text{K})$)	☐ 計算書 ☐	☐ 増改築を実施	
		冷房期の平均日射熱取得率	☐ 冷房期の平均日射熱取得率 η_A （ ）			
	住宅仕様基準	適用条件	開口部比率（ ）	☐ 仕様書 ☐ 仕上表 ☐ 矩形図 ☐		
		躯体の断熱性能等	☐ 熱貫流率の基準の適合 ☐ 断熱材の熱抵抗値の基準に適合			
		開口部の断熱性能等	開口部比率の区分 ☐ 区分(い) ☐ 区分(ろ) ☐ 区分(は) ☐ 区分(に)			
			☐ 緩和措置有り ☐ 窓の断熱(2%緩和) ☐ 窓の日射(4%緩和)			
	結露防止対策	結露の発生防止対策	☐ 防湿層の設置(繊維系断熱材等を使用する場合) ☐ 設置（ ） ☐ 省略（ ）	☐ 仕上表 ☐ 矩形図 ☐	☐ 増改築を実施	
			☐ 通気層の設置(外壁・屋根を断熱構造とする場合) ☐ 屋根 【 ☐ 有（ ） ☐ 省略()】 ・ 防風層の設置（ ） ☐ 外壁 【 ☐ 有（ ） ☐ 省略()】 ・ 防風層の設置（ ）			
	劣化事象	著しい劣化事象等	☐ 断熱等の性能に大きく影響すると見込まれる劣化事象等が認められない。			
			☐ 断熱等の性能に大きく影響すると見込まれる劣化事象等が認められるが補修を行う。			

6 省エネルギー対策 ☐ 本基準に係る全ての増改築を実施しない。	一次エネルギーに係る基本事項	外皮性能値	単位温度差当たりの外皮熱損失量(q) ()【W/K】 単位日射強度当たりの冷房期の日射熱取得量(mc) ()【-】 単位日射強度当たりの暖房期の日射熱取得量(mh) ()【-】	☐ 仕上表 ☐ 仕様書 ☐ 面積表 ☐		
		面積等	床面積の合計 () m ² 主たる居室の面積 () m ² その他の居室の面積 () m ²			
		年間日射地域区分	☐ 太陽光発電利用又は太陽給湯設備を採用			
		自然風利用	☐ 自然風を利用 主たる居室 () 回/h以上 その他居室 () 回/h以上			
		蓄熱利用	☐ 蓄熱の利用			
	設備機器に係る事項	暖房方式	☐ ()	☐ 平面図 ☐ 機器表 ☐	☐ 増改築を実施	
		冷房方式	☐ ()			
		換気設備方式	☐ ()			
		給湯設備	☐ 給湯熱源機 () ・配管方式 ☐ 先分岐方式 ☐ ヘッダー方式 ・水栓 ☐ 節湯水栓等を使用 ・浴槽 ☐ 高断熱浴槽を使用 ・太陽光給湯 ☐ 高断熱浴槽を使用			
		照明設備	☐ 主たる居室 () ☐ その他居室 () ☐ 非居室 ()			
太陽光発電の使用について		☐ ()				
コージェネレーションの使用について		☐ ()				
劣化事象		著しい劣化事象等 ☐ エネルギー利用効率化設備等のいずれも作動するものであることを確認した。 ☐ エネルギー利用効率化設備等のうち作動しないものがあるが補修を行う。				
7 住宅の規模	住宅面積	住宅の面積 ・住宅の専有面積 () m ² ・40㎡以上ある階 (階) () m ² うち階段部分面積 () m ²	☐ 求積図			
8 維持保全の方法		維持保全の期間等 ・期間 () 年以上 ☐ その他の基準への適合	☐ 申請書 ☐ 維持保全計画書			
9 資金計画		費用の設定 ☐ 建築に要する費用の設定 ☐ 維持保全に要する費用の設定	☐ 申請書			
10 居住環境への配慮	まちなみへの配慮	地区計画等の適合 ・地区計画等、景観計画、建築協定、景観協定、条例その他地方公共団体が自主的に定める要綱等がある区域 ☐ 区域外 ☐ 区域内 該当する地区計画等の名称 () ☐ 適合 ・住宅の建築制限がある都市計画施設等の区域として、所管行政庁が選定・公表したものの区域 ☐ 区域外	☐ 別添			

建築物の名称			
建築物の所在地			
設計者	資 格	(級) 建築士	() 登録第 号
	建築士事務所	(級) 建築士事務所 () 知事登録第 号	
	氏 名	名 称	
審査員氏名			
建築基準関係規定への適合の確認	建築基準法の規定違反の有無 ☐ 無		
新築時の長期優良住宅認定の確認	新築時の長期優良住宅認定の有無 ☐ 無 ☐ 有 (☐ 新築時の長期優良住宅認定の取下げを行った。)		
現況検査で確認できなかった対象部位	☐ 無 ☐ 有 (増改築時に確認し、劣化事象が見つかった場合には、補修又は補修を行わない箇所については維持保全計画に補修・点検等の対応内容及び時期を定める。)		
現況検査で判明した劣化事象の対応 (増改築時に判明したものを含む。)	☐ 補修又は補修を行わない箇所については維持保全計画に補修・点検等の対応内容及び時期を定めた。		

	図書の分類
長期優良住宅の基準にかかる既築部分(増改築しない部分)の仕様について根拠となる図書がある場合	☐ 建設住宅性能評価書の図書 ☐ プラット35適合証明書の図書 ☐ 公庫融資現場判定通知書の図書 ☐ 検査済証+図書 ☐ 既築部分の仕様について、現況と図書に相違がないことを確認した。 ☐ 設計住宅性能評価書の図書 ☐ 確認済証+図書 ☐ その他図書 () ☐ 既築部分の仕様について、性能項目ごとに住宅全体で一箇所に抽出し現地等で確認又は施工記録書等により図書とおりであることを確認した。 既築部分の確認方法 ☐ 施工記録書 ☐ 現場写真 ☐ 納品書 ☐ その他 ()
上記図書がない場合	☐ その他図書 () ☐ 既築部分の仕様について、性能項目ごと、部位・仕様ごとに一箇所に抽出し現地等で確認又は施工記録書等により図書とおりであることを確認・作成した。 既築部分の確認方法 ☐ 施工記録書 ☐ 現場写真 ☐ 納品書 ☐ その他 ()

※この欄に記載されている事項は、必要な範囲内で、個別の申請において詳細に設定してください。

認定事項等	確認項目	設計内容説明欄 ※		記載図書	増改築の実施	設計内容 確認欄
		項目	設計内容			
4 維持管理 更新の容易性 (共用配管) (ガス管を除く。) (1)維持管理等 級(共用排水 管) ☐ 本基準に 係る全ての 増改築を 実施しな い。	共用配管	コンクリート	☐ 排水管 (☐ 無 ☐ 維持保全計画に将来的な適合を計画) ☐ 給水管 (☐ 無 ☐ 維持保全計画に将来的な適合を計画) ☐ 給湯管 (☐ 無 ☐ 維持保全計画に将来的な適合を計画)	☐ 仕様書 ☐	☐ 増改築を実施	
		内埋込み配管	☐ 排水管 (☐ 無 ☐ 維持保全計画に将来的な適合を計画) ☐ 給水管 (☐ 無 ☐ 維持保全計画に将来的な適合を計画) ☐ 給湯管 (☐ 無 ☐ 維持保全計画に将来的な適合を計画)	☐ 仕様書 ☐	☐ 増改築を実施	
	地中埋設管	地中埋設管	☐ 排水管 (☐ 無 ☐ 維持保全計画に将来的な適合を計画) ☐ 給水管 (☐ 無 ☐ 維持保全計画に将来的な適合を計画) ☐ 給湯管 (☐ 無 ☐ 維持保全計画に将来的な適合を計画) ☐ 条例等の規定により凍結防止のための配管埋設が定められている地域	☐ 仕様書 ☐	☐ 増改築を実施	
		上のコンクリート打設	☐ 給水管 (☐ 無 ☐ 維持保全計画に将来的な適合を計画) ☐ 給湯管 (☐ 無 ☐ 維持保全計画に将来的な適合を計画)	☐ 仕様書 ☐	☐ 増改築を実施	
	共用排水管	排水管の清掃措置	☐ 共用立管 管の種類 掃除口の位置 点検措置 () () (☐ 露出 ☐ 開口) () () (☐ 露出 ☐ 開口) () () (☐ 露出 ☐ 開口)	☐ 配置図 ☐ 平面図 ☐ 矩形図 ☐ 設備図 ☐	☐ 増改築を実施	
		掃除口の点検措置	☐ 横主管 管の種類 掃除口の位置、間隔 点検措置 () () (☐ 露出 ☐ 開口) () () (☐ 露出 ☐ 開口) () () (☐ 露出 ☐ 開口)	☐ 配置図 ☐ 平面図 ☐ 矩形図 ☐ 設備図 ☐	☐ 増改築を実施	
	排水管の形状等(継手及びヘッダーを含む。)	排水管等の内面	☐ 平滑である (仕様等) ☐ その他 ()	☐ 仕様書 ☐	☐ 増改築を実施	
		設置状態	☐ たわみ等が生じないように設置 措置 () ☐ その他 ()	☐ 仕様書 ☐	☐ 増改築を実施	
	配管点検口	排水管と専用排水管の接合部	☐ 接合部の位置 () 点検措置 (☐ 露出 ☐ 開口)	☐ 平面図 ☐ 設備図 ☐	☐ 増改築を実施	
		給水管と専用配管の接合部	☐ 接合部の位置 () 点検措置 (☐ 露出 ☐ 開口) ☐ バルブの位置 () 点検措置 (☐ 露出 ☐ 開口)	☐ 平面図 ☐ 設備図 ☐	☐ 増改築を実施	
		給湯管と専用配管の接合部	☐ 接合部の位置 () 点検措置 (☐ 露出 ☐ 開口) ☐ バルブの位置 () 点検措置 (☐ 露出 ☐ 開口)	☐ 平面図 ☐ 設備図 ☐	☐ 増改築を実施	
		横主管のビット内等の措置	☐ 建物直下になし ☐ ビット内又は床下設置 (☐ 人通孔設置 ☐ その他) ☐ 維持管理に円滑な実施のために必要な措置が講じられている	☐ 平面図 ☐	☐ 増改築を実施	
4 維持管理 更新の容易性 (共用配管) (ガス管を除く。) (2)更新対策 (共用排水 管) ☐ 本基準に 係る全ての 増改築を 実施しな い。	共用排水管	給水管	☐ 建物直下になし ☐ ビット内又は床下設置 (☐ 人通孔設置 ☐ その他)	☐ 平面図 ☐	☐ 増改築を実施	
		給湯管	☐ 建物直下になし ☐ ビット内又は床下設置 (☐ 人通孔設置 ☐ その他)	☐ 平面図 ☐	☐ 増改築を実施	
	配管補修の措置	排水管	☐ 露出 (☐ 共用部 ☐ 住棟外周部 ☐ バルコニー) ☐ PS内 (☐ 共用部に面して補修用開口有)	☐ 平面図 ☐	☐ 増改築を実施	
		給水管	☐ 露出 (☐ 共用部 ☐ 住棟外周部 ☐ バルコニー) ☐ PS内 (☐ 共用部に面して補修用開口有)	☐ 平面図 ☐	☐ 増改築を実施	
		給湯管	☐ 露出 (☐ 共用部 ☐ 住棟外周部 ☐ バルコニー) ☐ PS内 (☐ 共用部に面して補修用開口有)	☐ 平面図 ☐	☐ 増改築を実施	
	共用排水管	コンクリート内埋込み配管	☐ 共用排水管 (☐ 無 ☐ 維持保全計画に将来的な適合を計画)	☐ 仕様書 ☐	☐ 増改築を実施	
		地中埋設管	☐ 共用排水管 (☐ 無 ☐ 維持保全計画に将来的な適合を計画) ☐ 条例等の規定により凍結防止のための配管埋設が定められている地域	☐ 仕様書 ☐	☐ 増改築を実施	
		上のコンクリート打設	☐ 共用排水管 (☐ 無 ☐ 維持保全計画に将来的な適合を計画) ☐ 条例等の規定により凍結防止のための配管埋設が定められている地域	☐ 仕様書 ☐	☐ 増改築を実施	
		バイブスペース及びビット等	☐ 横主管の設置位置 ☐ ビット ☐ 1階床下空間 ☐ ビロティ ☐ その他の共用部分 () ☐ 配管に人が到達できる経路 ☐ 人通孔 ☐ その他 () ☐ 共用排水管の位置 ☐ 共用部分 ☐ 住棟外周部 ☐ バルコニー ☐ 維持管理に円滑な実施のために必要な措置が講じられている ☐ その他 () ☐ 共用排水管の設置方法 ☐ 露出 ☐ バイブスペース内	☐ 仕様書 ☐	☐ 増改築を実施	
	共用排水管	コンクリート床等の貫通部	☐ 共用排水管のコンクリート床の貫通部 [☐ 有 ☐ 無] ☐ 共用排水管の切断工事を軽減する措置かつ共用排水管がコンクリートの床等を貫通する部分に共用排水管の撤去の際のはつり工事を軽減する措置 ☐ 排水管の接続替えを容易に行うための措置 ☐ 共用排水管の撤去、接続替えその他更新のための空間を確保	☐ 仕様書 ☐	☐ 増改築を実施	
		新たな共用排水管の設置余地	☐ 共用排水管の近傍に新たな共用排水管の設置スペース・スリーブ等 ☐ 排水管の接続替えを容易に行うための措置 ☐ 共用排水管の撤去、接続替えその他更新のための空間を確保 ☐ 専用排水管・横主管の接続替えができる空間、スリーブ [☐ 有 ☐ 無] ☐ その他 ()	☐ 平面図 ☐ 設備図 ☐	☐ 増改築を実施	

認定事項等	確認項目	設計内容説明欄		記載図書	増改築の実施	設計内容確認欄
		項目	設計内容			
3 可 変 性			・ 躯体天井高さ (mm) ・ 居室天井高さ (mm)	☐ 断面図 ☐ 矩形図 ☐	☐ 増改築を実施	
4 維持管理更新の容易性(専用配管) (ガス管を除く。) ☐ 本基準に係る全ての増改築を実施しない。	専用配管※	コンクリート内埋込み配管	☐ 排水管 (☐ 無 ☐ 維持保全計画に将来的な適合を計画) ☐ 給水管 (☐ 無 ☐ 維持保全計画に将来的な適合を計画) ☐ 給湯管 (☐ 無 ☐ 維持保全計画に将来的な適合を計画)	☐ 仕上表 ☐ 平面図 ☐ 矩形図 ☐	☐ 増改築を実施	
		地中埋設管	地中埋設管上のコンクリート打設 ☐ 排水管 (☐ 無 ☐ 維持保全計画に将来的な適合を計画) ☐ 給水管 (☐ 無 ☐ 維持保全計画に将来的な適合を計画) ☐ 給湯管 (☐ 無 ☐ 維持保全計画に将来的な適合を計画) ☐ 条例等の規定により凍結防止のための配管埋没が定められている地域	☐ 仕上表 ☐ 平面図 ☐	☐ 増改築を実施	
		専用排水管の清掃措置	・ 便所 [☐ 共用堅管に隣接 ☐ 掃除口 ☐ (露出又は開口有)] ・ その他の水まわり [☐ トラップ ☐ 掃除口 ☐ (露出又は開口有)]	☐ 配置図 ☐ 平面図 ☐	☐ 増改築を実施	
		排水管の形状等(継手及びヘッダーを含む。)	排水管等の内面 ☐ 平滑である(仕様等) ☐ その他 ()	☐ 仕上表 ☐	☐ 増改築を実施	
		設置状態	☐ たわみ等が生じないように設置措置 () ☐ その他 ()			
		配管点検口	主要接合部等の点検措置 ・ 排水管と設備機器の接合部 [(☐ 露出 ☐ 開口部有 ☐ その他)] ・ 給水管と設備機器の接合部 [(☐ 露出 ☐ 開口部有 ☐ その他)] ・ 給湯管と設備機器の接合部 [(☐ 露出 ☐ 開口部有 ☐ その他)] ・ 給水管バルブ及びヘッダー [(☐ 露出 ☐ 開口部有 ☐ その他)] ・ 給湯管バルブ及びヘッダー [(☐ 露出 ☐ 開口部有 ☐ その他)]	☐ 平面図 ☐	☐ 増改築を実施	
5 高齢者等対策 (共用部分) ☐ 本基準に係る全ての増改築を実施しない。	共用廊下	共用廊下の幅員	・ 有効幅員 (mm)	☐ 仕様書 ☐ 平面図 ☐ 矩形図 ☐	☐ 増改築を実施	
		外部開放廊下の転落防止用手すり	・ 転落防止措置の床からの高さ (mm) ☐ 手すり壁 ☐ さく ☐ 金網			
	共用階段	勾配等	・ けあげ (mm) ・ 踏面 (mm) ・ 勾配 (/)	☐ 平面図 ☐	☐ 増改築を実施	
		蹴込み	・ 蹴込み寸法 (mm) ・ 蹴込み板 (☐ 無 ☐ 有)			
		形式等	・ 階段の形式 (☐ 踊り場付き折れ階段 ☐ 直階段 ☐ その他) ・ 最上段の通路等への食い込み (☐ 無 ☐ 有) ・ 最下段の通路等への突出 (☐ 無 ☐ 有)			
		滑り防止	・ 滑り止め (☐ 無 ☐ 有、踏面と同一面)			
		段鼻	・ 段鼻の出 (☐ 無 ☐ 有)			
		転落防止用手すり(外部開放階段)	・ 転落防止措置の床からの高さ (mm) ☐ 手すり壁 ☐ さく ☐ 金網			
		手すり	☐ 有 ☐ 無 (☐ 使用上支障がないこと。)			
	エレベーター	エレベーターの利用	・ 住戸の位置 (☐ 建物出入口に存する階 ☐ 左記以外) ・ エレベーター設置 (☐ 無 ☐ 有 (☐ 使用上支障がないこと))	☐ 仕様書 ☐ 平面図 ☐	☐ 増改築を実施	
		エレベーターの仕様	・ 出入口の有効幅員 (mm)			
		エレベーターホールの広さ	・ エレベーターホールの寸法 (mm × mm)			
		共用階段の手すり	・ 上記措置に代えて階段の両側に手すりを設置 (☐ 無 ☐ 有 (☐ 使用上支障がないこと。))			

※ 共同住宅等の専用配管でパイプスペースから認定対象住戸内への引き込み部分がシンダーコンクリート等への埋め込みであるものは除く。

認定事項等	確認項目	設計内容説明欄		記載図書	増改築の実施	設計内容確認欄
		項目	設計内容			
6 省エネルギー対策 ☐ 本基準に係る全ての増改築を実施しない。	適用する基準		☐ 断熱等性能等級 (☐ 等級4 ☐ 等級3) ☐ 基準省令及び住宅計算法 ☐ 住宅仕様基準 ☐ 一次エネルギー消費量等級4 ☐ 基準省令及び住宅計算法 ☐ 住宅仕様基準	☐		
		躯体の断熱性能等	地 域 区 分 ☐ 1地域 ☐ 2地域 ☐ 3地域 ☐ 4地域 ☐ 5地域 ☐ 6地域 ☐ 7地域 ☐ 8地域	☐		
		断熱材の種類及び厚さ	屋根 () (mm) 部位の熱貫流率(m ² ・K/W) 天井 () (mm) 部位の熱貫流率(m ² ・K/W) 壁 () (mm) 部位の熱貫流率(m ² ・K/W) 床 外気に接する部分 () (mm) 部位の熱貫流率(m ² ・K/W) その他の部分 () (mm) 部位の熱貫流率(m ² ・K/W) 土間床等の外周部 外気に接する部分 () (mm) 部位の熱貫流率(m ² ・K/W) その他の部分 () (mm) 部位の熱貫流率(m ² ・K/W)	☐ 仕上表 ☐ 矩形図 ☐	☐ 増改築を実施	
	開口部の断熱性能等	窓・ドア等の断熱性 建具 建具形態 ガラスの種類 構成等 () () () () () () 窓・ドア等の日射遮蔽措置 方位 ガラスの日射侵入率等 庇 軒 付属部材等 () () () () () () () () ()	☐ 仕上表 ☐ 平面図	☐ 増改築を実施		
	基準省令及び住宅計算法	外皮平均熱貫流率 ☐ 外皮平均熱貫流率(U _A 値) () (W/(m ² ・K)) 冷房期の平均日射熱取得率 ☐ 冷房期の平均日射熱取得率 η _A ()	☐ 計算書 ☐			
	住宅仕様基準	適用条件 躯体の断熱性能等 開口部の断熱性能等	開口部比率 () ☐ 熱貫流率の基準の適合 ☐ 断熱材の熱抵抗値の基準に適合 開口部比率の区分 ☐ 区分(い) ☐ 区分(ろ) ☐ 区分(は) ☐ 区分(に) ☐ 緩和措置有り ☐ 窓の断熱(2%緩和) ☐ 窓の日射(4%緩和)	☐ 仕様書 ☐ 仕上表 ☐ 矩形図 ☐		
	結露防止対策	結露の発生防止対策	☐ 防湿層の設置(繊維系断熱材等を使用する場合) ☐ 設置 () ☐ 省略 () ☐ 通気層の設置(外壁・屋根を断熱構造とする場合) ☐ 屋根 【 ☐ 有 () ☐ 省略() 】 ・ 防風層の設置 () ☐ 外壁 【 ☐ 有 () ☐ 省略() 】 ・ 防風層の設置 ()	☐ 仕上表 ☐ 矩形図 ☐	☐ 増改築を実施	
	熱橋部対策	熱橋部の断熱補強対策	・ 構造熱橋部の断熱補強措置 断熱材の熱抵抗又は断熱材の厚さと種類 () 補強範囲 (mm)	☐ 仕上表 ☐		
	劣化事象	著しい劣化事象等	☐ 断熱等の性能に大きく影響すると見込まれる劣化事象等が認められない。 ☐ 断熱等の性能に大きく影響すると見込まれる劣化事象等が認められるが補修を行う。			

6 省エネルギー対策 ☐ 本基準に係る全ての増改築を実施しない	一次エネルギーに係る基本事項	外皮性能値	単位温度差あたりの外皮熱損失量(q) ()【W/K】 単位日射強度あたりの冷房期の日射熱取得量(mc) ()【-】 単位日射強度あたりの暖房期の日射熱取得量(mH) ()【-】	☐ 仕上表 ☐ 仕様書 ☐ 面積表 ☐			
		面積等	床面積の合計 () m ² 主たる居室の面積 () m ² その他の居室の面積 () m ²				
		年間日射地域区分	☐ 太陽光発電利用又は太陽給湯設備を採用				
		自然風利用	☐ 自然風を利用 主たる居室 () 回/h以上 その他居室 () 回/h以上				
		蓄熱利用	☐ 蓄熱の利用				
		設備機器に係る事項	暖房方式				☐ ()
	冷房方式	☐ ()					
	換気設備方式	☐ ()					
	給湯設備	☐ 給湯熱源機 () ・配管方式 ☐ 先分岐方式 ☐ ヘッダー方式 ・水栓 ☐ 節湯水栓等を使用 ・浴槽 ☐ 高断熱浴槽を使用 ・太陽光給湯 ☐ 高断熱浴槽を使用					
	照明設備	☐ 主たる居室 () ☐ その他居室 () ☐ 非居室 ()					
	太陽光発電の使用について	☐ ()					
	劣化事象	著しい劣化事象等 ☐ エネルギー利用効率化設備等のいずれも作動するものであることを確認した。 ☐ エネルギー利用効率化設備等のうち作動しないものがあるが補修を行う。					
	7 住宅の規模	住宅面積	住宅の面積	・住宅の専用面積 () m ² ・40m ² 以上ある階 () m ² うち階段部分面積 () m ²	☐ 求積図 ☐		
	8 維持保全の方法		維持保全の期間等	・期間 () 年以上 ☐ その他の基準への適合	☐ 申請書 ☐ 維持保全計画書		
	9 資金計画		費用の設定	☐ 建築に要する費用の設定 ☐ 維持保全に要する費用の設定	☐ 申請書		
10 居住環境への配慮	まちなみへの配慮	地区計画等への適合	・地区計画等、景観計画、建築協定、景観協定、条例その他地方公共団体が自主的に定める要綱等がある区域 ☐ 区域外 ☐ 区域内 該当する地区計画等の名称 () ☐ 適合 ・住宅の建築制限がある都市計画施設等の区域として、所管行政庁が選定・公表したものの区域 ☐ 区域外	☐ 別添			